

(様式第2号)

地域振興推進費事業実績・自己評価書(実績)

提出区分	実績	整理番号	16	課題区分	C	令和4年3月31日	
横断的な課題	人口減少下における人材確保						
地域重点政策						木曾地域振興局	
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	農業農村支援センター	
事業名	御嶽はくさい機械化推進事業				電話	0264(25)2221	
				E-mail	<a href="mailto:kiso-nogvo@pref.nagano.lg.jp">kiso-nogvo@pref.nagano.lg.jp</a>		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	地域ブランド御嶽はくさいの生産振興を図る。					
	現状と課題	木曾地域では、地域ブランドとして「御嶽はくさい」が定着しているものの、生産者の高齢化等により生産量が減少し、産地としての維持対策が急務となっている。 はくさいは重量野菜であり、特に収穫作業は農家にとって大きな労力負担となっているため、労力の軽減による生産性向上が課題となっている。					
	内容 (変更後の内容)	はくさい栽培において、収穫作業はその重量から労力が必要とされ、特に家族経営のような労働力が少ない生産者の規模拡大への支障となっている。この課題を解決する対策の一環として、収穫機械の導入がある。 ただし、現在の収穫機は無マルチ栽培における稼働実績はあるものの、マルチ栽培での稼働実績がないため、現地において収穫機の導入試験と現地検討会を開催する。 なお、収穫機の不具合により商品として出荷できない可能性を考慮し、収穫したはくさいを買い取るとともに、道の駅連絡協議会に提供し、各食堂等で加工して観光客等に御嶽はくさいのPRをしていただくよう依頼する。					
	事業期間	令和3年7月28日		～	令和3年11月9日		
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考		
	御嶽はくさい機械化推進事業	現地検討会		38,880	はくさい買取料		
		収穫したはくさいのPR					
		資料作成		14,300	プリンタートナー代		
合計				53,180			
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	機械導入の意識を高める			部会役員等5人	部会員11人	<input type="radio"/> 達成	
	道の駅において観光客等に御嶽はくさいをPRする			道の駅5か所	道の駅3か所	<input checked="" type="radio"/> 一部達成	
						<input type="radio"/> 未達成	
事業実績・成果	○現地検討会 7月28日 40人参加(うち部会員11人) (株)ヤンマーアグリジャパンが開発した「はくさい収穫機HH1400」の実演(収穫ミスによるロス率21.0%) 収穫機現地導入の可能性を検討(意見交換、アンケート調査)						
	○収穫痕調査 7月30日、8月2日 はくさい96玉の機械収穫痕を調査(被害率11.5%)						
今後の方向性	○御嶽はくさいのPR 収穫したはくさいを、道の駅3か所(三岳、日義、きそむら)で加工・調理等を行い、観光客等消費者にPR						
	○情報共有 9月27日 御嶽はくさい産地の再構築重点チーム会議で情報共有 11月9日 JA木曾野菜生産部会反省検討会で情報共有						
【成果】 マルチ栽培のはくさいにおいても機械収穫が可能であることがわかった 市場出荷用のはくさいを機械収穫する場合の課題が明確となり、生産者の知見を深めることができた 道の駅を通じて収穫した御嶽はくさいを活用し、消費者にPRすることができた							
【一部達成の理由】 道の駅5か所でPR活動を実施する予定であったが、道の駅間で調整が行われ、3か所での実施に至った							
今後の方向性	収穫機の改良点をメーカーに伝えるとともに、複合的かつ継続的に労力節減対策を検討する。						